

夏季高温の影響や技術対策を共通テーマとした「研究セミナー」の開催について

令和5年10月

農業試験場

1 趣 旨

令和5年7～9月期は過去最高の平均気温となり、少雨でもあったことから水稻はじめ、各農作物の生育・収量・品質への影響が懸念されている。そこで、夏季高温の影響や技術対策を共通テーマとした「研究セミナー」を開催し、気候変動に対応した技術対策に資するとともに、高温による現場の新たな技術的課題等の把握や試験研究への反映を図る。

2 各研究セミナーの開催予定

- (1) 作物研究セミナー：令和6年3月上旬
- (2) 野菜研究セミナー：令和6年2月中・下旬
- (3) 果樹研究セミナー：令和6年2月上・中旬
- (4) 花き研究セミナー：令和6年1月18日（木）13:30～
- (5) いちご研究セミナー：令和5年12月5日（火）10:00～、13:30～の2回

3 「夏季高温の影響や技術対策」の内容例

- (1) 気候変動、特に夏季高温対応等に関連する試験課題の成績概要
- (2) 生育診断・予測情報や生育状況調査等の結果
- (3) 実際の農作物の収量や品質への影響
- (4) 研究現場や生産現場で見られた特有の事例の紹介
- (5) 過去の研究成果や現在試験中の中間結果等も交えての技術対策 など

4 その他

- (1) 各研究セミナーの具体的開催案内については、詳細が決定次第、その都度情報提供する。
- (2) 各研究セミナーについて、リアル形式の集合開催を主体に、多くの農業者や関係者に情報を伝えるため、オンラインでのハイブリッド開催（サテライト会場併設）を予定する。